

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年6月17日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム湧水の里
所在地	〒893-0026鹿児島県 鹿屋市 祓川町 5250-8番地 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	平成29年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年5月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

すぐ近くの山では野鳥のさえずりが聞こえ、すぐ近くの池では鯉が泳いでいる湧水の里、豊富な自然に囲まれゆっくりとした時間が流れる中を利用者の皆様は、御家族からの希望の多い散歩を楽しんでいらっしやいます。春は満開の桜の下でおにぎり昼食会を楽しんだり、夏場は早朝散歩に出かけ季節の会話に努めています。ホームでは毎週1回の訪問看護もあり、それぞれの掛かりつけ病院にて、定期受診を受けながら体調管理に努めています。時には遠出を楽しんだり「ひまわり喫茶」でホットケーキを焼いてあつあつを食べたりと、笑顔で元気に生活されるお手伝いをしています。私達が目指すのは「楽しい我が家」心からそう感じて頂けるように、スタッフ一同 努めています。

○ホームは、市の中心地より少し離れた祓川水源上流の自然豊かな田園地帯の広大な土地に、同法人のデイサービスセンター、有料老人ホームに隣接して設置されており、運営や会議等で事業所間の情報の共有が図られ、職員の研修やイベントの開催を協力して行っている。また、緊急時や重度化、終末期の利用者の対応にも協力の体制が構築されている。園庭には多種の樹木や果樹、草花が植えられ、利用者は散歩時に山菜や菜園の野菜を収穫する等、四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。

○管理者及び職員は、理念「明るく豊かな人と人とのふれあい」「毎日笑顔で」「地域と共に」を大切に、利用者の尊厳や誇りを大切にしながら想いの把握に努め、その人らしい平穏な生活が過ごせるよう日々取り組んでいる。利用者及び家族の想いや要望に対しては職員全員で改善に向けた検討協議を行ってサービスの質の向上に務めており、利用者及び家族との信頼関係が築かれている。

○施設長及び管理者は、職員会議や日常の業務の中で要望や意見等の把握に努め、出された意見や要望は速やかに職員全体で話し合って改善を図っている。また、職員のスキルアップにも熱心に取り組んでおり、職場研修の実施や、外部研修への積極的な参加、資格取得へのバックアップに努め、職員個人が抱える家庭的事情などにも細かに配慮して、信頼と協力体制を構築した働きやすい職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人とのふれあい」「毎日笑顔で過ごしましょう」「地域と共に」の理念の下、日々の生活の中で秋祭りの開催やホームでの蕎麦作りでふれあいの機会を設けている。	ホーム開設時に作成した理念に沿って、利用者一人ひとりの状況を把握しながら寄り添うケアに日々努めている。理念は目に付きやすい玄関に掲示すると共に毎朝唱和し、また職員会議や日々の申し送り時にケアの振り返を行い、理念を共有し実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事〔祓川棒踊り〕を湧水の里で披露してくださったり8月踊りの招待状も届き交流が図られている。今年も町内会消防団と地域の皆さんの協力の下消防訓練を計画している。	自治会に加入し、地域のイベント（棒踊りや8月踊り等）を見学し、小学校の運動会には観覧席と出場のプログラムも設定されている。ホームの春、秋祭りには地域住民やボランティア、中学生などの参加があり、会食や歓談を楽しんでいる。日常的に家族や友人知人の面会があり、近隣の方々から野菜等のお裾分けを頂くなど円滑な交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族会に今年も20名の参加を頂き認知症についての学びの場を設けている。ホームの見学に来られる方には出来るだけ丁寧に認知症グループホームについて説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・消防団長・家族の代表の方々の意見を頂き行事計画を立てたり、湧水便りや行事計画を見ながら活動報告を行っている。外部評価についても地域の皆様に助けられながら良い報告が出来ている。	利用者、家族、住民代表、町内会長、行政職員、消防団長らが参加して定期的に開催している。主にホームの行事や活動内容、入退去状況、リスクマネジメント対応の報告、認知症や高齢者福祉に関する研修の実施、防災に関する説明等を行い、家族からはケアに関する意見や要望、行政から制度説明、地域住民から在宅の高齢者の情報など多岐にわたる意見が出されており、サービスの改善に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議にも参加して頂き感染症等に対する注意喚起もある。利用者の方々や御家族、職員へ助言をいただき、連携を密にとり認知症ケアに取り組んでいる。	市の担当者には運営推進会議に出席してもらいホームの運営状況等にご意見等を頂くとともに、介護保険の手続きやホーム運営に関する質問や協議を随時訪問や電話・メールで密に行い協力関係を築いている。また、会議や研修会等で意見交換する機会も多く、広報紙「湧水の里便り」も配布して必要な情報の共有を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については内部研修外部研修にて勉強し、身体拘束による弊害についても職員が理解しているが、常に勉強会を繰り返し返して学びを深めていきたい。玄関の鍵も散歩に出かけ、施錠しない工夫を行っている。	「身体拘束廃止委員会規程」を整備し「身体拘束排除宣言」を行って拘束のないケアの実践に努めている。毎月の職員会議で事故防止策や身体拘束のない支援について、事例をあげながら意見交換や研修を実施し、玄関や非常口は施錠しないで見守りや寄り添いで安全の確保に努め、丁寧な言葉によるケアに常に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開かれたグループホーム作りに努めご家族の面会も多い。玄関を開けてホーム周辺の散歩に出かけ鍵をかけない工夫もし、高齢者虐待防止法についても定期的に勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員に成年後見人をしていた者がおり必要があれば活用できるよう支援できる。権利擁護に関する外部研修、内部研修にも参加スタッフ全員で勉強を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約時の説明は丁寧に行っている。不安や疑問点には分かりやすく十分な説明に努め、理解納得を得られるよう心がけている。</p>	/		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会にこれないご家庭へは希望があれば出かけている。毎日の生活の中で、いつでも利用者の方々の体調や、困っている事、やりたい事等の声掛け目配りを行いながら、より質の高いサービスに努めている。</p>	<p>日常のケアの中での会話や表情、所作等から利用者の意見や思いの把握に努め、また家族とは日頃の面会やホームの行事への来訪時の対話、運営推進会議、家族会、電話等により意見や要望等の把握に努めている。出された意見や要望は、職員全員で対応を話し合っ改善を図るなどサービスの向上に反映させており、改善の経過や結果については、本人や家族にも報告して理解を得ている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議で職員の意見を聞く場を設けており、皆で意見を出し合っ行事計画等作っている。家族会もスタッフ全員で意見を出し合い作り上げ良いグループホーム作りに結びついている。</p>	<p>法人代表や管理者は、日々の申し送りやケアの中での対話をはじめ、毎月の職員会議等で意見や要望を聞き取り、また必要に応じて個別に面談して意見や要望の把握に努めている。職員のアイデアも含む意見や提案を運営やサービス向上、職場環境改善などに活かすとともに、勤務シフトや外部研修受講、資格取得等についても職員の意向を確認して可能な限り希望に添うよう配慮し、働きやすい職場環境の構築に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	常に高い目標を持って、職員全員で勉強し職員の働きやすい明るくやりがいのある職場作りを心掛けている。年2回湧水の里の食事会も開催し親睦を図っている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員の外部研修参加計画を作り研修に参加している。またホーム内研修では毎月勉強したことをレポートにまとめて提出している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	ネットワーク作りを行い地域の同業者と交流を行っている。毎月の勉強会でそこでの情報を取り入れてサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム内外の環境に慣れて頂くよう散歩をしたりコミュニケーションを図り本人の思い、不安等に職員全体で耳を傾け寄り添い信頼関係をまず築くことに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	オープンなグループホーム作りに努め面会も多い。最初は不安も強いと思うのでその都度話をする場をもうけ、生活に対する意向等話していただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の本人にとって何が一番かを本人ご家族と話し合いながら時にはドクターの意見もいただき笑顔で生活できるようなサービスプランを心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にラジオ体操をし、散歩に出かけ、洗濯物干し畳み、料理の下準備、お茶の準備等声かけしながら参加していただき、その都度、感謝の気持ちも必ず伝えるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会には全員参加いただき面会も多い。正月帰省をされたり、家族との昼食会に出かけたりされ絆を大事にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	夫が入院したらスタッフと一緒に病院見舞いに出かけたり、ご家族が面会にこれない時には、スタッフと一緒に自宅にご家族を訪ねたりして利用者様ご家族の思いに出来る限り応えるよう努めている。	利用者のこれまでの生活・職歴や環境の把握し、個人台帳に整理して情報を共有している。家族や友人等の来訪時にはゆっくりと過ごせるようにお茶や面会の場所に配慮し、また家族の協力も得ながら一時帰宅や買い物、墓参り、外食等を支援している。遠方の家族には毎月利用者の状況を「湧水の里便り」で伝え電話や手紙の取り次ぎも行うなど、馴染みの人や場との関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく会話する場を確保し馴染みの関係がそれぞれに深まっていくよう努めているが、時々トラブルもあるので常にスタッフが付き添うよう心がけている。外が好きな方は散歩を楽しまれたり、和室ではテレビ視聴されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族から電話やお便りが有り現況を知らせてくださり、面会にも行かせて頂いている。最後の最後までお互いのご縁を大事にさせて頂いてます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の方々の希望に沿って年間行事計画を立てたり、ご家族の面会時には本人の思い生活の意向も伺いながらサービスにつなげている。ご家族の笑顔で生活して欲しいとの思いに答えていきたい。	本人の思いや希望を本人や家族との対話の中で把握し、また会話が困難な利用者からは、表情や仕草等のサインで把握して、その人にとって最善のケアになるよう取り組んでいる。手芸や読書、習字等利用者の趣味や特技等への取り組みも本人の希望に添って活動できるよう個別の支援を行っており、利用者の励みになるよう評価の言葉かけに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人・ご家族も交えてこれまでの暮らしぶりを伺っている。一人一人の生活暦は職員全員把握している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック後、天気の良い日は散歩に出かけたりホーム内では料理好きな方には昼食準備に参加して頂いたり、洗濯物を干して下さる方・畳んで下さる方、それぞれに協力を頂きながら1人1の現状を考えている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の方々とご家族に生活の意向を伺いモニタリングで満足度を伺いながら毎月の職員会議にて話し合いをし、今よりもっと利用者の方々の笑顔や自信を引き出せる介護計画作成に努めている。	本人・家族の意向や医師、看護師等関係者からの意見を基に協議して、きめ細かな解りやすい内容の介護計画を作成している。支援の実施状況は「介護日誌」「申し送りノート」「バイタルチェック表」等に詳細に記録して情報を共有している。利用者の状況の変化に対しても随時モニタリングを行い実情に沿ったプランに変更して、利用者が安心して自信の回復が図れる支援に取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録では皆が見て分かりやすい記録をとり個別にファイルしている。朝・夕の引継ぎにて情報を共有し、より良いサービスに結びつくよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が遠方より来居された折には部屋にて一緒に昼食を摂って頂いている。又都合でホームにこれないと連絡があればこちらから利用者様と一緒に出かけ喜ばれている、		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・町内会長・消防団等の協力の下、様々な行事計画を立てている。地域の消防団の協力の下火災避難訓練も行い皆さんの協力のおかげで安心な暮らしが出来ている、		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員、かかりつけ医があり定期受診を行っている。病院受診は家族の協力も得られて適切な医療が受けられている。家族の希望で月2回の訪問診療を受けてる方もいる。	利用開始時に病歴やかかりつけ医を把握し、本人や家族が希望する医療機関で治療している。通院は家族と連携して同行の支援を行い、また利用者の状況によって訪問診療も実施されている。受診の状況は詳細に記録され、家族とも連絡を取り合って共通の認識と対応を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護時は、利用者の方々の今の状態を丁寧に報告を行っている（検温者、皆さんの食事量排便等）。又利用者の方々の直接の話も聞いていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は本人情報のケアプラン作成資料を届け度々病院を訪ねている。病院関係者と情報交換を行いながら退院後の食事療法を指導して頂いたり本人にとって一番良い退院日を家族先生も含めて決めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階に、かかりつけ医・本人・家族と相談しながら本人にとってベストな方針支援に取り組んでいるが難しいと感じる。ドクターより家族への丁寧な説明もして頂いている。	重度化や終末期のケアについては、「重度化した場合における対応にかかる指針」を整備し、入居時に利用者と家族に十分に説明を行い、その意向を確認している。利用者が重度化した時点で職員、主治医、訪問看護、家族と十分な話し合いを行い、ホームで可能な限りの支援・対応の実施体制を築いて対応しており、これまで1件の看取りを実施している。利用者の重度化に伴う職員の不安や業務の対応に対しては、管理者を含め職員全員でサポートする体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルもあり、応急手当やマニュアルの勉強会も行って実践力に努めている。	/	
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	中央消防署や地域の方々の協力の下、火災避難訓練・地震訓練を定期的に行っている。火災・災害時における近隣住民の協力連絡網もあり、協力を得られる体制も築いている。	夜間想定を含む火災、地震時の通報、避難、消火等の訓練を消防署、地域住民も参加して年2回実施しており、隣接のデイサービスや有料老人ホームとの協力体制も構築されている。スプリンクラーや自動通報装置、消火器が整備され、卓上コンロ、ラジオ懐中電灯等も備えており、飲料水や保存食品（缶詰、乾パン、即席めん等）も賞味期限を記載したリストを作成して保管されている。マスコミ等の災害事例をもとに日常的に対応を話し合う等防災への意識は高く、今後は法人全体での合同防災訓練の実施を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>皆さん自分に自信と誇りを持って生活されている。声掛けにも基本的な「です、ます」を使い笑顔で挨拶から1日が始まって、いる。</p>	<p>人格の尊重やプライバシー保護については、計画的に研修会を開催して意識づけに取り組んでいる。衣服の交換や排泄、入浴時等のケアに際してはプライドを損ねるような言葉かけや対応を行わないように常に心がけ、利用者毎の傷つけないケアの方法を共有して実践に努めている。居室入り口の名札や「湧水の里便り」への写真等の記載については了解を得ており、利用者にかかる台帳等は施錠できる書棚で保管するなど適切に行われている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>理容・着替え等の希望も含めてゆっくり対話をしながら決めていただいている。音楽を聴かれたりテレビを視聴したりそれぞれの思いに応えられるよう常にスタッフが寄り添っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>外に出ると顔が輝く方は散歩に出かけたり、家に帰りたい方はスタッフと一緒に自宅を訪ねたりしている。音楽好きの方は音楽を聴いて楽しまれている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎週日曜日は手足の爪切り、火曜日は白ワセリンで足のマッサージを行っている。訪問理容のボランティアで髪をカットして頂いたり、訪問美容にて眉カットして頂き喜ばれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	、じゃが芋の皮むきや、お茶の準備を一緒にしたり、食事前には嚙下運動も兼ねおはら節を唄ってから「いただきます」を代表で言って頂き全員で楽しく食事をしている。	身体状況に伴う食事制限や形態、栄養バランス、利用者の好み等に配慮しながら、差し入れや菜園で収穫した野菜も活用して季節感のある食事づくりに努めている。おせち、誕生会、節句等の行事食や、焼き芋、団子など手作りのおやつ、家族との会食、園庭でのお茶タイム、梅漬けやそば打ち、餅つきなど食事が楽しみとなるよう工夫しており、食材の下処理や下膳、テーブル拭き等は利用者も楽しみながら行っている。食事は職員も一緒にテーブルで歓談しながら食事している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	温かいお茶、お茶ゼリー、とろみ茶、牛乳寒天を準備し水分補給に努めている。魚は60gの切り身を準備したり、おおよそのカロリー栄養バランスを把握している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎年協力医療歯科より歯科検診と口腔ケアの指導が有り勉強した事を活かして洗面所にて口腔ケア義歯洗浄介助の支援を行っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意があったりなかったりする一人ひとりの排泄パターンを職員が把握してトイレ誘導を行い失敗時は声掛けに十分気をつけながら布パンツ、ズボンの着替えを支援している。	利用者の見守りや排泄チェック表の活用で、個々のリズムを把握し誘導や声掛けを工夫して、可能な限りトイレで排泄できるように支援している。また、利用者の状況に添った対応になるよう職員はケアの方法等を十分に話し合いプランに組み込んで、不安や羞恥心にも配慮しながら日々のケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や健康体操で体を動かしたり、散歩に出かけ良く歩かれている。おやつに焼き芋を出したり、便秘症の方はドクターに相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は一日おきの入浴で、前の日に入らなかった人は次の日に入ってもらったりしている。	入浴は週3回が基本であるが、排泄の失敗等に対しては即時に清拭や入浴で清潔を保持し、予定外の入浴希望にも柔軟に対応している。利用者の好みの温度や時間、入浴剤等 細かに配慮してゆっくりと楽しんでもらう。皮膚疾患の手当も行ないながら親密なコミュニケーションを図る場にもなっている。入浴を拒む利用者には無理強いしないで、声掛けやスタッフの変更など工夫して入浴への意向を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の流れの中で生活リズムをつくり、散歩に出たりゆっくりお茶の時間をを楽しんだり、本人の希望で昼寝をしたりされている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の説明書をはいつでも見られる所においてあり、職員は用法用量を理解している。薬が変わった時は個人ケースへ記録し引継ぎにて説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活暦は職員が理解していて、今日の日いち、曜日を発表して下さったり、ボール遊びをリードされたり、踊りの師匠さんは音楽に合わせて踊って楽しんでおられる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日ホーム周辺の散歩を楽しまれている。ご家族との食事会に帰られたり、季節ごとにお花見昼食会、苺狩り・みかん狩り・ぶどう狩り・又個別の計画も立て生まれ育った海の近くまでドライブに出かけたりしている。	日常的に隣接のディサービスの利用者との談笑や園庭の散歩、墓参、買い物等を利用者の体調や天候等に配慮しながら意向に添って外出に努めている。また、家族と協力して一時帰宅や墓参り、季節の花見やフルーツ狩り、自宅周辺へのミニドライブ、レストランでの外食等の外出を支援して気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持ってないと落ち着かない人は財布を持っていただいているが最近あまり興味をしめされなくなった。病院受診時「お金を持ってきてない」と言われる人は預かり金を持っていただき支払いをしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎年暑中見舞いや年賀状を職員と一緒に書いて出されている。電話もかけたりご家族からかかってきたりして話をされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空気が乾燥している時は加湿器を利用、湿度が高い時は除湿機を使用、時計やカレンダーも目に付く所に掛けてあり、居間には散歩の途中摘んだ季節の花を飾ったりしている。部屋掃除、トイレ掃除を毎日行い清潔なホームで穏やかに生活されている	日当たりの良い広い庭には、様々な樹木や果樹、草花が植えられており、日光浴や山菜取り、散策が自由に楽しめる環境になっている。リビングからは田園風景が望め、畳の間には大きなソファも配置されて落ち着いた雰囲気となっている。季節の花や観葉植物、行事の写真や利用者手作りの作品が随所に飾られ、採光や空調、整理整頓が行き届いており、利用者は好みの場所で四季を感じながら、穏やかに生活している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	話好きな方や歌好きな方、テレビ視聴される方達が居間や和室ソファ又は自室にて思い思いに過ごされている中にスタッフが寄り添っています。	/	/
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は使い慣れた布団や枕、小さなテーブル道具箱、家族の写真が飾られ、花好きの方はご家族から花鉢が届き、それぞれに自分の部屋づくりをされている。	余裕のある畳敷きの居室は明るく、利用者の状態に沿ったベッドとエアコン、押し入れが設置されている。毎日の清掃は利用者と職員で行うなど衛生面にも配慮した支援に努めており、家庭と同様に落ち着いて過ごせるように使い慣れたテレビや整理棚、位牌、家族写真、自分の作品、小物等を自由に持ち込んで、その人らしい和やかな空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や各部屋に名札（竹）が有り自室の確認をされている。手すりは全てに設置されていて、車椅子用トイレ男性用トイレもある。居間や和室ソファにてテレビを観たり自分のペースで安心して過ごされるよう環境整備に努めている。	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人のふれあい」「地域と共に」を基本理念とし、朝の申し送りの後に唱和し、日常のケアの実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所を地域の施設と位置付け町内会に入り、地域の小中学生による芸能祭り棒踊りや小学校の運動会の参加や見学を通し子供達とのふれあいや交流もある。ホームでの催し物として春と秋の家族会やお祭りを通し地域の方々との交流も深めている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族会への参加も頂き、認知症についての学びの場や日頃の様子等の説明も行っている。疑問に思われていることや質問を受けたことへのお話や資料等もお渡ししている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・消防団長・利用者・ご家族様の参加も頂き、サービスの実施・評価への取り組み状況等について報告を行っている。毎月発行するホーム便りによる生活の風景写真や色々な行事・活動内容等を見て貰い、それに対する意見を頂き、より良いサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市担当者又は地域包括支援の担当者は運営推進会議等に参加して頂き、利用者やご家族、職員へのお知らせや要望・助言等をいただきながら協力関係を築いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の勉強会を定期的を実施しており、身体拘束による弊害も全職員は理解している。ベッドからの転落事故の危険性のある方へはセンサーマット対応にて拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者や職員は毎月のスタッフ勉強会の中において高齢者虐待防止法について学ぶ機会を多く持ち事業者内での虐待が絶対に起こらないようチームケアに取り組んでいる。研修会へ参加し研修結果報告も行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者や職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度について研修会への参加または毎月のスタッフ勉強会のテーマに取り上げ学ぶ機会を持っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用契約時に管理者による重要事項説明があり、その中において利用者側からの不安や疑問点をお聞きし、質問に対しては分かりやすく十分な説明を行い理解・納得が得られている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の方々は意見要望を上手く伝えられないが、日々接している中において、職員は感じ取れる部分も多い。家族等意見についてはその都度お聞きしたり、面会時、気軽に相談を頂き、職員間で改善に向けての話し合いを行い、より質の高いサービスに努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日の申し送りや毎月の職員会議の中で意見や提案を聞く機会を設けている。提言などもレポートを提出して代表者や管理者は職員の意見を運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回は事業所全体の食事会も開催している。職場環境作りを良くしながら、各自が向上心を持って働けるよう色々な意見を聴くことに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回の勉強会に加え、医療法人の外部講師の方を招き内部研修会も行っている。又外部研修への参加はスタッフが均等に受けられるよう配慮している。資格取得も積極的に促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの職員との交流も大切にしている。相互訪問等によりホーム内の環境作りや活動内容を見せて頂き、勉強し、よりよいサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用について相談があった時には必ず本人や家族と会い心身の状態やそれぞれの思いに向き合うようにしている。精神的不安の無いよう温かい支援を行い、よりよい信頼関係が気付けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にお会いし、困っている事や不安な事・要望等を詳しく尋ねメモしておく。不安な気持ちに寄り添い、誠意を持って対応していただけるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約をしに来られた際は管理者と計画作成者がご家族様に懇切丁寧に対応している。又、ご家族様の必要としている支援を見極め十分に話し合い、本人に必要としているサービスの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活をしている中において料理の下ごしらえや味利き、又、本人に負担のない範囲で色々なお手伝いをして頂いている。(生活リハ) スタッフと一緒にいる事で会話も弾み、楽しい雰囲気の中で家族のような関係を築いている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を理解した上でどうしても難しい状態・状況が見られた時にはご家族様に相談し共に本人を支えていく関係が出来ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室にはご家族様と過ごされた頃の写真や面会に来られた時に写した写真、思い出のある置物等が飾ってある。友人や孫様、親戚の方々の面会があった時にはぜひまたおいで下さるよう声掛け行っている。また月に2～3回息子様のお迎えで家に帰られる方もおられる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの性格や好みなどを把握し会話が弾み笑いが多く聞かれている。また、上手くコミュニケーションがとれない方には職員や利用者様が間に入り話に参加できるよう支えあえるような支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後にお見舞いに行ったり、電話をしたり、スタッフと楽しく過ごされた懐かしい思い出を振り返った。、ご家族様とお会いした時は感謝の言葉を多き頂き、現状報告と共に悩みごとの相談もお聞きし対応に努めた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ゆっくりと本人に向き合い、思いや希望・意向をくみ取れるように努めている。本人からの思いを聴き取れない場合にはご家族様からの情報や要望を聞いたり相談したりして対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの生活歴を伺って介護サービス利用の参考にさせて頂いている。また、生活の流れの中でご家族様や職員との気付き、話し合いにおいて経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人にあつた心身状態を把握し個性を大切にしながら、出来る事を喜び、出来ないことの現状を把握しながら支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の介護日誌・介護サービス内容のモニタリング（月1回スタッフ）し、その結果をケア会議で話し合い、意見や気付き、要望・アイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録で残す事の大切さは職員一同認識しており、その記録は個々にされている。朝の申し送りや記録を読み合う事で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況・その時々生まれるニーズに対応出来るよう話し合える時間を設けている気付きや要望に応じ出来る範囲を見極めながら取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員や町内会長、地域の消防団の方々の協力を得ながら安心・安全の穏やかな生活を支援出来ている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・ご家族様等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医の受診や訪問看護を利用している。主治医とは入居者様の現状やホームでの様子を報告し信頼関係も築き適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の関わりの中でとらえた情報や気づきをスタッフと話し合い定期受診時に担当医の先生に相談を行っている。また週1回の訪問看護利用の際はホームでの様子を詳しく説明し指導・助言を頂いている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には利用者様の基本情報をお渡しする。また頻繁に見舞いに行く事で情報交換・共有に努めた。ご家族やソーシャルワーカー・担当医との間に入りより良い関係づくりを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のあり方については本人・ご家族様を交えて説明を行っている。状態の変化においては訪問看護を利用し主治医と連携をとり、事業所でできる支援の方針を共有し共に取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変や事故発生時に備えてマニュアルにそった勉強会も行なっている。応急手当や初期対応の方法を定期的に話し合い、実践力の向上に努めている。また救急隊への情報提供カードも半年ごとに作成している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害対策においての勉強会や年2回の火災避難訓練・地震訓練を実施している。運営推進会議においては毎回地域の消防分団長も出席を頂き連携も図れ、協力体制も築いている。又各施設内での避難回避に向けての訓練も実施し連携も図れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りや尊厳を大切に言葉の持つ意味の大切さを十分に考慮している。職員は人格の尊重に配慮した言葉かけや対応を常に心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	病状の進行と共に少しずつ、本人の思いや希望を表わせ無くなるが、出来るだけ分かりやすい言葉でゆっくりと話し掛け、本人の意思・思いを確認しながら自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ柔軟な対応が出来るように介護計画を作成している。一人ひとりに合った暮らしを希望に沿っての支援を実施している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服はご家族様やスタッフが本人に合う色やデザインを選んで購入し持ってきて下さる。ヘアカットや毛染めの支援も定期的に行っている。外出時などにはその人らしいお洒落を支援し衣類の乱れがないよう気遣っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みの把握に努めている。料理の下ごしらえや味付けの具合などへの参加も頂き、評価も頂いている。食後の食器下げも一人ひとりの力量で協力して頂いたり、一緒に片付けをしたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や水分量のチェックをその都度行い一日を通して確保できているかの確認を行っている。またお茶を拒まれる方にはジュース・ポカリ等も提供し水分確保に努めている。時間に関係なくこまめに提供。中には甘い味を好まれる方がおられる。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアチェックも毎回行っている。毎食後の義歯洗浄に加え食後はポリデント洗浄も行っている。認知症の人に多く見られる口腔内の疾患についても学び集団指導・歯科検診も実施し状態に応じては歯科受診も支援している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄の失敗やおむつ使用を減らす意味においては一人ひとりの排泄パターンを把握したり、時間での誘導、排泄チェック表での確認等で自立に向けての支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄・排尿チェック表を基に早め早めの対応に心がけている。食べ物（繊維の多い食材）芋・果物・ヨーグルト等の提供。又、腹部マッサージも行っている、水分も多めに摂取どうしてもダメな場合は排泄を促す暖下剤を服薬して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を好まれる方は多いが、本人の意志や体調を考慮して行っている。認知度が進むにつれて声掛けや、時間のタイミングが重要となっている。個々に応じた入浴支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活パターンを把握しその時々状態・状況に応じて対応している。一日を通して安心して気持ちよく眠れるよう言葉かけの工夫や散歩（日差しを浴びる）事も考慮しながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は確実にスタッフが行っている（読み上げ確認）定期薬の変更や追加薬については受診記録紙や薬局からの説明書を個人ファイルに閉じてスタッフ全員が理解できるようにしている。その後の症状の変化についても観察確認行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事への喜びや楽しみを味わって頂きたく、日付の読み上げや、洗濯物たたみその他、（役割支援）（生活リハ）スタッフと共に行う事で達成感や楽しみ、気分転換ができ、笑いの多い日々を支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの体調に応じ外出の頻度は異なるが、出来るだけ本人の希望に沿って外出（ショッピング・ドライブ・お花見、季節に応じた行事）等の支援をおこなっている。ご家族様への参加も呼びかけている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人、ご家族からのお金の所持金を希望される方は今のところおられません。欲しいものがあつた場合には一緒にお店へ出かけたり、定期受診の帰りに病院の売店にて好みの飴やお菓子を購入して頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様から電話が入った時には、必要に応じ、本人と変わり会話を楽しまれる。ご家族さまとの電話での会話で元気をもらい表情も明るくなる。電話を希望される方への支援もおこなっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホールは、季節を感じられる折り紙や散歩の途中で摘んで来た草花を生け、明るい雰囲気の中、穏やかに過ごして頂いている。時間に応じては懐かしい音楽（演歌や童謡）を聴かれ居心地の良い環境づくりに取り組んでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にあるソファでゆっくり過ごされる人、好きな居場所がそれぞれにある。気の合った利用者同士で穏やかに過ごされている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの部屋には思いでのある写真やギター・お位牌・置物等があったり、テレビをお持ちの方はゆっくりと自分の好きな番組を観たりと居心地良く過ごせるような空間が出来ている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全面バリアフリーになっており、廊下は手すりがくまなく設置されている。利用者が安全に自立した生活が送れるようになっている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない